

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

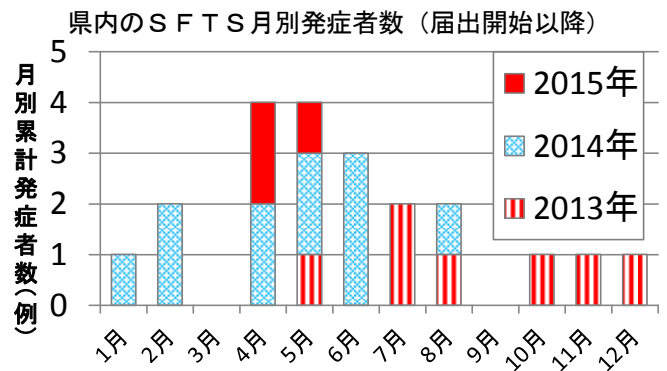
宮崎県第21週の発生動向

トピックス

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS) (全数報告の感染症)の届出が日南保健所から1例あった。県内での報告は今年3例目、累計22例目となった。患者は70歳代女性で、5月上旬に発症した。ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS 年齢別報告数 (例)

~40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代~
1	2	5	6	7	1



全数報告の感染症 (21週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例。
 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症1例。
 5類感染症：アメーバ赤痢1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・病名	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、胸痛
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1,2産生)
			10歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1,2産生)
			40歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1,2産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	70歳代	女	—	発熱、筋肉痛、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
	日本紅斑熱	日南	80歳代	女	—	発熱、発疹
	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎
5類	アメーバ赤痢	高鍋	50歳代	男	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見 アメーバ原虫栄養型 <i>Entamoeba histolytica</i> (病原性+)

□ 定点把握の対象となる5類感染症

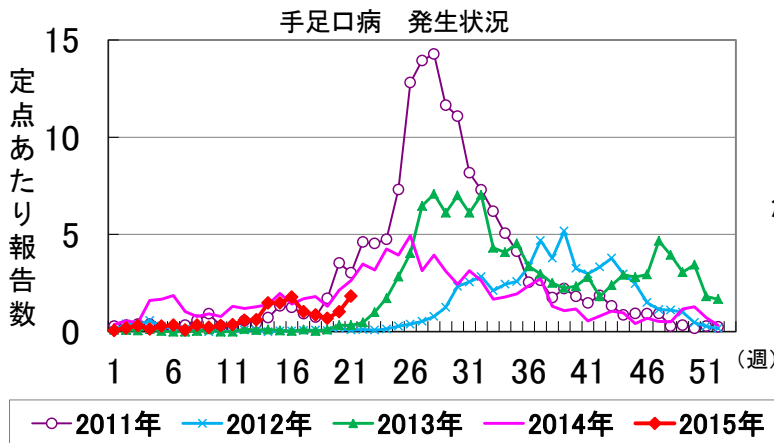
・定点医療機関からの報告総数は 961 人（定点当たり 27.7）で、前週比 107%とやや増加した。前週に比べ大きく増加した疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

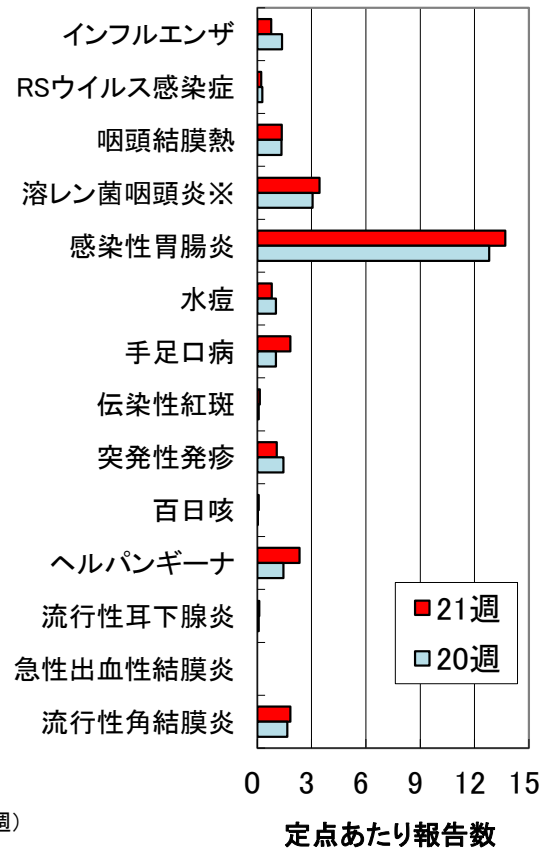
【手足口病】

・報告数は 66 人（1.8）で、前週比 178%と大幅に増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（2.4）の約 0.8 倍と少ない。年齢別では1歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



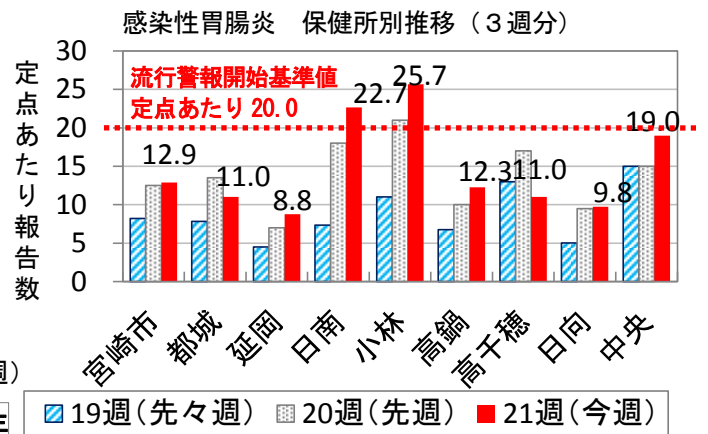
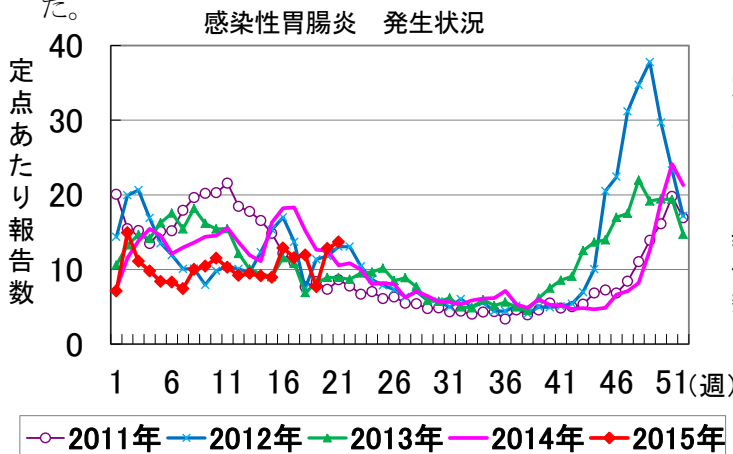
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

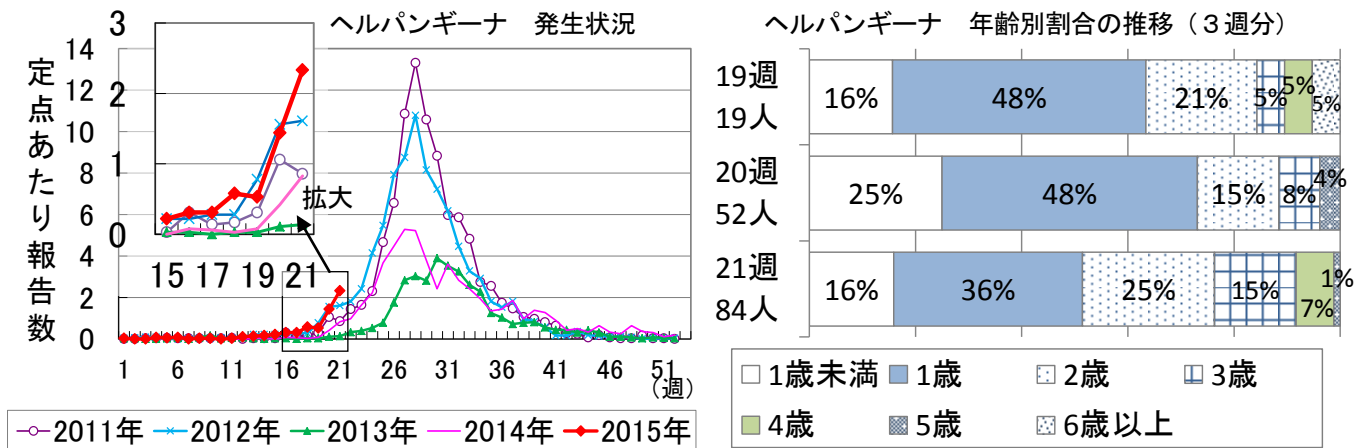
【感染性胃腸炎】

・報告数は 493 人（13.7）で、前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（10.5）の約 1.3 倍と多い。小林（25.7）、日南（22.7）保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約半数を占めた。



【ヘルパンギーナ】

・報告数は 84 人（2.30）で、前週比 162%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（1.4）の約 1.6 倍と多い。延岡（9.5）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(9.5)
日南	咽頭結膜熱(6.0)、感染性胃腸炎(22.7)
小林	感染性胃腸炎(25.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

📍 全国第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 20 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	367 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	38 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	1 例	A型肝炎	5 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
4類感染症	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	5 例	デング熱	2 例
	日本紅斑熱	4 例	レジオネラ症	13 例	レプトスピラ症	1 例
	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
5類感染症	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例
	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	57 例	水痘 (入院例)	3 例
	梅毒	31 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	3 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 157%と増加した (前週祝日含む)。インフルエンザと細菌性髄膜炎は減少し、その他の疾患はいずれも増加した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 10,840 人(3.4)で前週比 209%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約 1.5 倍と多い。鳥取県(7.6)、山形県・新潟県(5.4)からの報告が多く、年齢別では 4~6 歳が全体の約 4 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 2,259 人(0.72)で前週比 200%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.32)の約 2.3 倍と多い。福島県(1.9)、滋賀県(1.8)、埼玉県(1.6)からの報告が多く、年齢別では 4~6 歳が全体の約 4 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第21週(5月18日～5月24日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	81	46	9	6	2		14	4	8	3	
	定点あたり	1.37	0.78	0.56	0.60	0.29	0.00	2.80	0.67	4.00	0.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	8			2	1				5	
	定点あたり	0.28	0.22	0.00	0.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	48	49	9	6	6	18				9	1
	定点あたり	1.33	1.36	0.90	1.00	1.50	6.00	0.00	0.00	0.00	2.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	110	124	21	23	29	21		13		13	4
	定点あたり	3.06	3.44	2.10	3.83	7.25	7.00	0.00	3.25	0.00	3.25	4.00
感染性胃腸炎	報告数	461	493	129	66	35	68	77	49	11	39	19
	定点あたり	12.81	13.69	12.90	11.00	8.75	22.67	25.67	12.25	11.00	9.75	19.00
水痘	報告数	37	29	6	6	2		1	9		4	1
	定点あたり	1.03	0.81	0.60	1.00	0.50	0.00	0.33	2.25	0.00	1.00	1.00
手足口病	報告数	37	66	33	1	4	4	6	12		2	4
	定点あたり	1.03	1.83	3.30	0.17	1.00	1.33	2.00	3.00	0.00	0.50	4.00
伝染性紅斑	報告数	3	5	1			3		1			
	定点あたり	0.08	0.14	0.10	0.00	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	52	39	9	6	11	5	4	1		3	
	定点あたり	1.44	1.08	0.90	1.00	2.75	1.67	1.33	0.25	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数	1	3	2		1						
	定点あたり	0.03	0.08	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	52	84	16	4	38	16	3			7	
	定点あたり	1.44	2.33	1.60	0.67	9.50	5.33	1.00	0.00	0.00	1.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	4		1	1					2	
	定点あたり	0.08	0.11	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	11	10	1							
	定点あたり	1.67	1.83	3.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～21週)

2類感染症	結核	83例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例(3)				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	3例(1)	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	2例(1)	マラリア	1例	レジオネラ症	1例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例(1)	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	3例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	3例

()内は今週届出分、再掲